

健康経営 宣言

1. 大阪自彊館 健康経営宣言

「私たち大阪自彊館は百余年にわたり様々な福祉ニーズを抱える人々を支援してきました。その根幹は人材であり、職員やその家族が健康で幸せな生活を送ることが、最も大切であると考えます。大阪自彊館は、職員が心身ともに健康で活力のある日常生活を送り、自らの能力を最大限に活用して利用者支援に取り組めるように、健康経営に取り組むことを宣言します。」

社会福祉法人 大阪自彊館

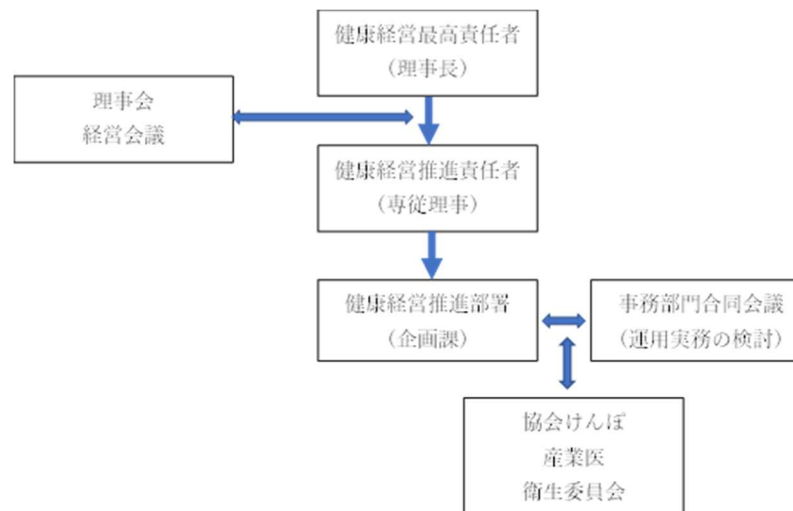
理事長 川端 均

制定:令和 4(2022)年 6 月 1 日

改定:令和 8(2026)年 4 月 1 日

2. 健康経営推進体制

理事長を最高責任者、専従理事を健康経営推進責任者とし、重要な意思決定・報告については理事会及び経営会議において決定します。法人内において企画課を担当部署、事務部門合同会議を運用実務の検討の場とし、協会けんぽ・産業医・衛生委員会と綿密な連携を行うこととします。



3. 健康経営の取り組み

大阪自彊館は令和 4 年 6 月 1 日に健康経営を宣言しました。これまで個別に実施してきた各種福利厚生施策やイベントを健康経営の観点から見つめ直し、より効果的に職員やその家族の健康増進・保持に資するように取り組んでいます。

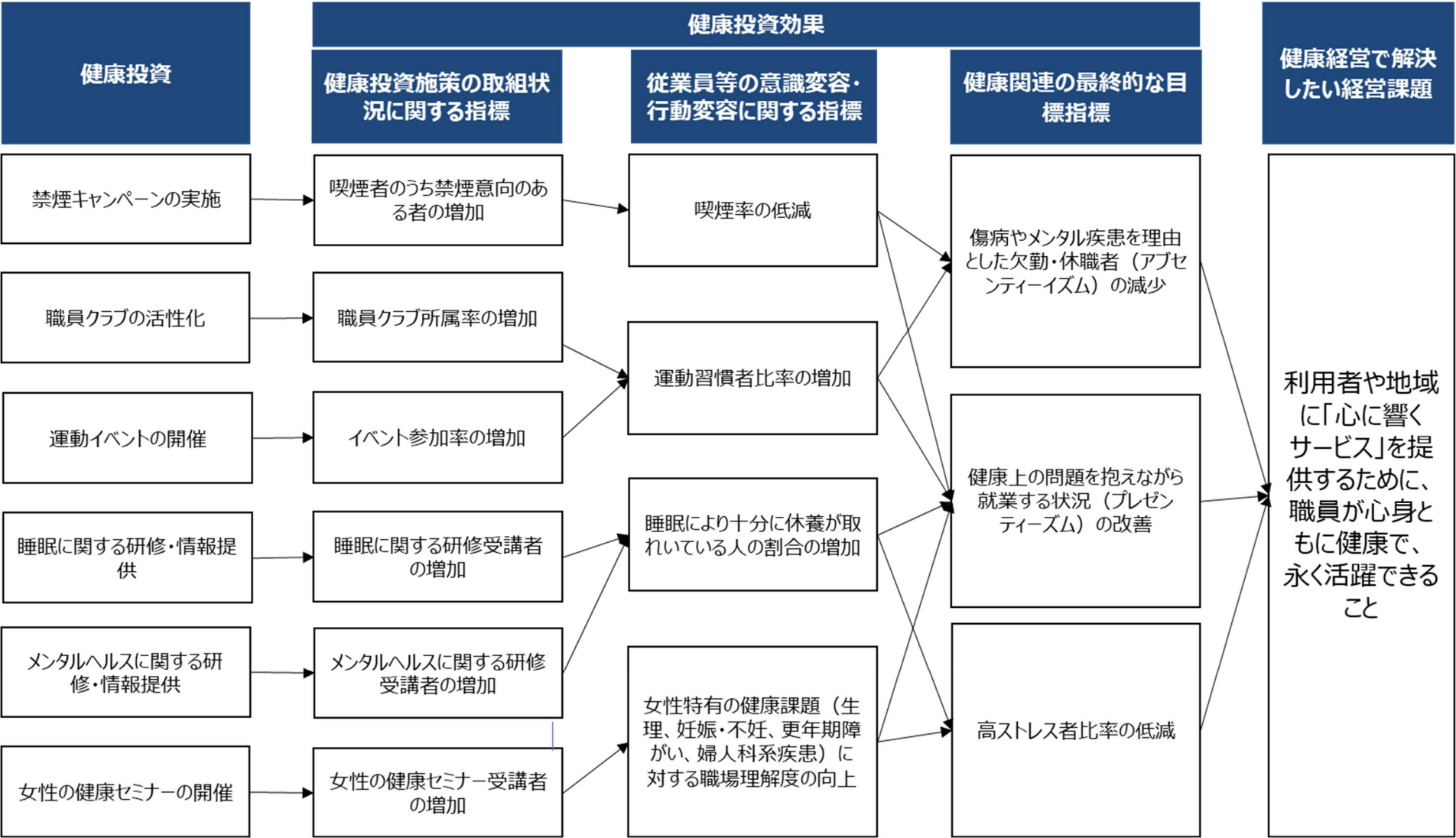
なお、令和 7 年度の取り組みについては、以下のとおりです。

令和 7 年 4 月 1 日	令和 7 年度 健康経営宣言	
7 月	職員の健康に関するアンケート調査によるニーズ把握	回答率 73.2%
7 月	社内報に医師による「健康コラム」掲載(テーマ:メンタルヘルス)	
11 月	健康講座(オンライン)への参加(メンタルヘルス)	管理職対象
11 月	動画の視聴提供(禁煙、アルコール対策、睡眠、運動)	
12 月	スポーツイベント(事業部対抗ボウリング大会)の開催	50 名参加
12 月	社内報に看護職員による「健康コラム」掲載(テーマ:生活習慣病)	
1 月	ウォーキングイベント「1day3000 ソーシャル・ウォーク！」に参加	114 名参加
通年	衛生委員会での健康に関する連絡・意見聴取	
通年	階層別研修での健康に関する講義	

4. 当法人の健康ニーズ

- (1)平均勤続年数が長く、生活習慣病リスクを抱える年齢層の従業員が多い
- (2)女性職員の比率が約半数と高く、女性特有の健康課題についての職場の理解度を向上させる必要がある
- (3)24 時間体制の交代勤務を行う事業所を中心に、十分な休息を取るための取り組みが必要である
- (4)対人援助サービスはやりがいが多い一方、ストレス管理が求められる。メンタルヘルス疾患の予防にも努める必要がある

5. 健康経営戦略マップ



6. 重点施策

職員一人ひとりが心身ともに健康であるとともに、働きやすく、働きがいのある職場環境となるように取り組みます。取り組みにあたっては、大阪自彊館らしい温かみ・人間味のある施策を実施し、仲間とともに協調しながら健康状態を高めていくことを目指します。

(1)生活習慣病等の予防のための取り組みを推進します。

①生活習慣病等の疾病の高リスク者に対する重症化予防に取り組みます

	令和3 年 (実績)	令和 4 年 (実績)	令和 5 年 (実績)	令和 6 年 (実績)	令和 10 年 (目標)	(協会けんぽ 大阪支部平均)
高血圧リスク	43.2%	41.4%	43.6%	46.3%	30%	44.5%
糖尿病リスク	15.8%	15.1%	15.1%	16.3%	8%	14.4%
脂質リスク	30.2%	29.9%	33.4%	29.3%	20%	28.2%

②健康診断の結果、「要精密検査」と通知を受けた職員の精密検査受検の促進を図ります

	令和 4 年 (実績)	令和 5 年 (実績)	令和 6 年 (実績)	令和 7 年 (目標)
精密検査受診率	12.8%	61.9%	58.7%	70%

③特定保健指導実施率の増加に取り組みます

	令和 3 年 (実績)	令和 4 年 (実績)	令和 5 年 (実績)	令和 6 年 (実績)	令和 7 年 (目標)	(協会けんぽ 大阪支部平均)
特定保健指導実施率	19.4%	19.3%	29.0%	20.7%	30%	5.7%

(2)女性特有の健康関連課題への対応、女性の健康保持・増進に取り組みます。

女性比率の高い当法人の特性を鑑み、女性特有の健康課題(更年期症状や更年期障がい、婦人科系がん等の婦人科疾患、月経前症候群や月経随伴症状といった月経周期に伴う心身の変化、妊娠/不妊、周産期ケア等)に関する知識を得るための従業員教育を実施します。

職員アンケートにおいて、「月経」「妊娠・不妊」「更年期障がい」「婦人科系疾患」について女性が感じる自部署での理解度を測定し、理解度の低い課題について重点的に取り組みます。

女性が感じる自部署の理解度(「理解がある」の割合)	令和 5 年(実績)	令和 6 年(実績)	令和 7 年(実績)	令和 8 年(目標)
月経	75.2%	69.9%	75.1%	80%
妊娠・不妊	83.3%	79.6%	84.9%	90%
更年期障がい	71.8%	68.0%	71.1%	80%
婦人科系疾患	76.8%	73.5%	76.6%	80%

(3)メンタルヘルスに関する研修を開催し、心の健康づくりに取り組みます。

(4)階層別研修において、職員の健康保持・健康増進に関する教育を実施します。

(5)運動習慣が定着するための支援を行います。

- ①職員が任意で楽しく参加できるスポーツイベントを開催します
- ②職員クラブの活性化を図ります

7. 健康保険組合との連携

当法人は全国健康保険協会大阪支部と連携して、健康経営を推進していきます

8. 健康経営の効果指標

(1)健康投資施策の取組状況に関する指標(R7 健康経営度調査による)

重点取組	項目		実績	備考
	定期健康診断受診率		100%	R6 年度
	定期健康診断後の精密検査受診率		58.7%	R6 年度
	ストレスチェック受検率		98.0%	R6 年度
★	広く従業員に行う施策の参加状況	スポーツイベント(ホックリング)参加率	9.5%	R6 年度
★		職員クラブ参加率	41.9%	R6 年度
★	ハイリスク者への施策の参加状況(保健指導継続率等)	特定保健指導実施率	20.7%	R6 年度
	労働時間の状況(残業時間等)	平均月間所定外労働時間	2 時間	R6 年度
	休暇取得の状況(年休取得率等)	平均年次有給休暇取得率	91.2%	R6 年度

(2)従業員の意識変容・行動変容に関する指標(R7 協会けんぽ事業所カルテ、R7 健康に関するアンケートによる)

重点取組	項目		実績	備考
	従業員の問診票の 集計結果	喫煙率	21.0%	R6 年度
		運動習慣者比率(週 2 回・30 分以上)	28.5%	R6 年度
		睡眠により十分に休養が取れている人の割合	57.3%	R6 年度
		飲酒習慣者率	15.5%	R6 年度
	ハイリスク者の管理 (治療継続)率	「血压」要治療者のうち治療等に取り組んでいる人の割合	64.9%	R6 年度
		「血糖」要治療者のうち治療等に取り組んでいる人の割合	43.2%	R6 年度
		「脂質」要治療者のうち治療等に取り組んでいる人の割合	40.8%	R6 年度
★	従業員のヘルスリテラシー の状況	「月経」について女性が感じる職場の理解度	75.1%	R6 年度
★		「妊娠・不妊」について女性が感じる職場の理解度	84.9%	R6 年度
★		「更年期障がい」について女性が感じる職場の理解度	68.0%	R6 年度
★		「婦人科系疾患」について女性が感じる職場の理解度	76.6%	R6 年度

(3)健康関連の最終的な目標指標(R7 協会けんぽ事業所カルテ、R7 健康経営度調査等による)

重点取組	項目		実績	備考
★	健康診断の結果指標	高血圧リスクがある者の割合	46.3%	R6 年度
★		高血糖リスクがある者の割合	16.3%	R6 年度
★		高脂質リスクがある者の割合	29.3%	R6 年度
		メタボリックシンドローム該当者の割合	20.1%	R6 年度
	離職の状況	平均勤続年数	16.4 年	R6 年度
		離職率	7.9%	R6 年度
	プレゼンティーズム(疾病などを抱えた就業)損失割合	SPQ 東大 1 項目版	20.0%	R7 年度
	アブセンティーイズム(疾病などによる欠勤)	欠勤日数の合計	260 日	R6 年度
		休職日数の合計	525 日	R6 年度
	ストレスチェックの集計結果(高ストレス者率)		11.6%	R6 年度

9. 健康経営に係る外部認証の状況

(1)健康経営優良法人 2026

令和 5 年に初めての申請で健康経営優良法人の認定を受け、本年も引き続き「健康経営優良法人 2026」の認定を受けました。



(2)男女いきいきプラス認証

大阪府が所管する本制度で、社会福祉法人として初めて認証を受けました。